

# SKK ROOF RECOATING SYSTEM

— SKK屋根塗り替えシステム —

屋根が蘇る

# 屋根、見えないからといって、

## はじめに

屋根は外壁と異なり、劣化が数段早く進行すると言われています。そのため、塗り替えで材料を選ぶ場合、外壁に使用する塗料より1ランク上の性能を持った塗料を選択することがポイントとなります。また、屋根の種類には日本瓦、薄型塗装瓦、セメント瓦、金属など、多種多様のものがありますので、それぞれの下地の種類と劣化状況に応じてしっかりと処理を行い、最適な塗料と仕様を選定することが大切です。

## 屋根の種類

種類	特長	代表的な製品名	写真	素地調整・下地処理	塗装仕様
薄型塗装瓦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽量（地震対策）</li> <li>・断熱効果</li> <li>・鉱物繊維とセメントを混合し、成型した屋根材</li> <li>・最近では無石綿板が主流となっている。</li> </ul>	コロニアルカラーベスト		<p>高圧水洗（10～15MPa）で、ごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去する。高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去する。</p>	塗装仕様①
乾式 コンクリート瓦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セメントと骨材を混合し、乾燥させたものの上にカラースラリー層と塗装を施した瓦（デラックスタイプはスラリー層が厚い）</li> <li>・瓦の小口が凹凸になっている。</li> </ul>	モニエル瓦		<p>スラリー層が残存していると剥離の原因となるため、高圧水洗（10～15MPa）にてスラリー層を完全に除去する。また、下塗り塗装時に所定の所要量に関係なく、基材表面が濡れ色になるまで下塗り材を塗付する。塗付後はクロスカット試験により密着性を確認する。</p>	塗装仕様②
セメント瓦 厚型スレート瓦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セメントと骨材を原料として乾燥させた物を基材として塗装を施したものと無塗装のものがある。</li> </ul>	—		<p>高圧水洗（10～15MPa）で、ごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去する。高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去する。旧塗膜がない場合にはSKトップファイヤーで下地処理を行う。</p>	塗装仕様③
陶器瓦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥した粘土を素焼きしたものや施釉されているもの（釉薬瓦）がある。</li> <li>・裏面は粘土色</li> </ul>	—		<p>高圧水洗（10～15MPa）で、ごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去する。高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去する。</p>	塗装仕様④

# そのまま放置していませんか。

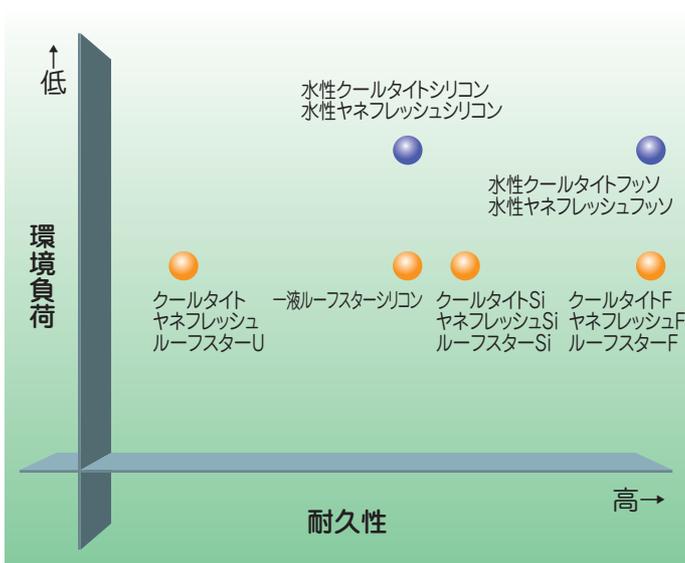
種類	特長	代表的な製品名	写真	素地調整・下地処理	塗装仕様
いぶし瓦 (日本瓦)	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘土を高温で焼成し、いぶし工程により形成された瓦</li> <li>表面、裏面ともにいぶし銀色をしている。</li> </ul>	—		塗装不可	—
アスファルトシングル	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェルト紙の両面にアスファルトを塗付し、表面に色砂を圧縮した屋根材</li> </ul>	—		<p>高圧水洗(10~15MPa)で、ごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去する。高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去する。</p>	塗装仕様⑤
金属屋根	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒冷地に多い</li> <li>雪滑り性が良い</li> <li>トタン(塗装)やガルバニウム鋼板等がある。</li> </ul>	—		<p>高圧水洗(10~15MPa)で、ごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去する。高圧水洗で旧塗膜が剥離し、鋼板の下地が露出した箇所は、発錆を防ぐため下地を乾燥させた後、すぐにマイルドサビガードを塗付する。さびが発生している場合はケレンを行う。</p>	塗装仕様⑥ 塗装仕様⑦
塩ビ鋼板屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩化ビニルフィルムが鋼板にラミネートされている。</li> </ul>	—		<p>高圧水洗(10~15MPa)でごみや汚れ、こけ、浮き膜を除去する。塩ビの浮き、剥離箇所はミラクボーセイMで補修塗りを行う。油分は溶剤で拭き取る。</p>	塗装仕様⑧

# 屋根用塗料の種類

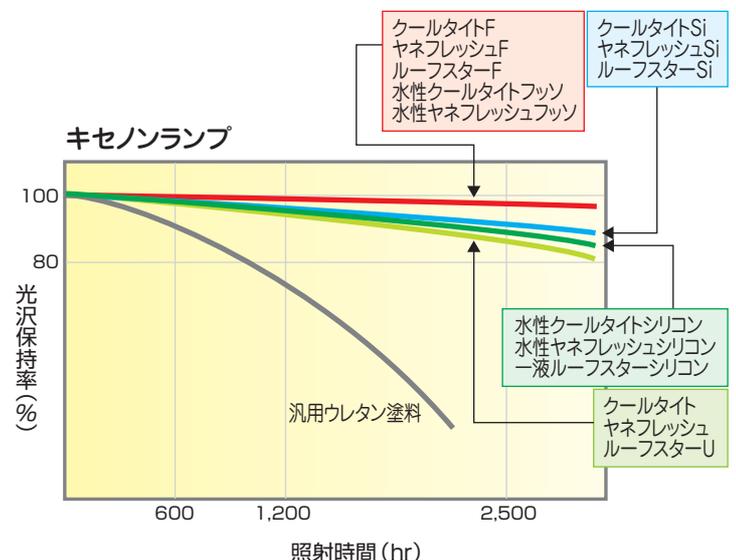
	製品名	樹脂の種類	特長	艶の種類	※1 コスト	塗料系	荷姿	危険分類
水性 クールタイト シリーズ	水性クールタイトシリコン	アクリルシリコン樹脂	超耐久、遮熱	艶有り	B	水性	一液	非危険物
	水性クールタイトフッソ	ふっ素樹脂	超耐久、遮熱	艶有り	A	水性	一液	非危険物
クールタイト シリーズ	クールタイト	ポリウレタン樹脂	高耐久、遮熱	艶有り、3分艶	C	弱溶剤	二液	第二石油類
	クールタイトSi	アクリルシリコン樹脂	超耐久、遮熱	艶有り、3分艶	B	弱溶剤	二液	第二石油類
	クールタイトF	ふっ素樹脂	超耐久、遮熱	艶有り、3分艶、艶消し	A	弱溶剤	二液	第二石油類
水性 ヤネフレッシュ シリーズ	水性ヤネフレッシュシリコン	アクリルシリコン樹脂	超耐久	※2 艶有り、艶消し	B	水性	一液	非危険物
	水性ヤネフレッシュフッソ	ふっ素樹脂	超耐久	艶有り	A	水性	一液	非危険物
ヤネフレッシュ シリーズ	ヤネフレッシュ	ポリウレタン樹脂	高耐久	艶有り、3分艶、艶消し	C	弱溶剤	二液	第二石油類
	ヤネフレッシュSi	アクリルシリコン樹脂	超耐久	艶有り、3分艶、艶消し	B	弱溶剤	二液	第二石油類
	ヤネフレッシュF	ふっ素樹脂	超耐久	艶有り、3分艶、艶消し	A	弱溶剤	二液	第二石油類
ルーフスター シリーズ	ルーフスターU	ポリウレタン樹脂	高耐久	艶有り、艶消し	C	弱溶剤	二液	第二石油類
	ルーフスターSi	アクリルシリコン樹脂	超耐久	艶有り、艶消し	B	弱溶剤	二液	第二石油類
	ルーフスターF	ふっ素樹脂塗料	超耐久	艶有り、艶消し	A	弱溶剤	二液	第二石油類
	一液ルーフスターシリコン	アクリルシリコン樹脂	超耐久	艶有り	B	弱溶剤	一液	第二石油類

※1 高 A>B>C 低  
コストの詳細は、別途設計価格表をご参照下さい。  
※2 艶消しは15kgのみです。

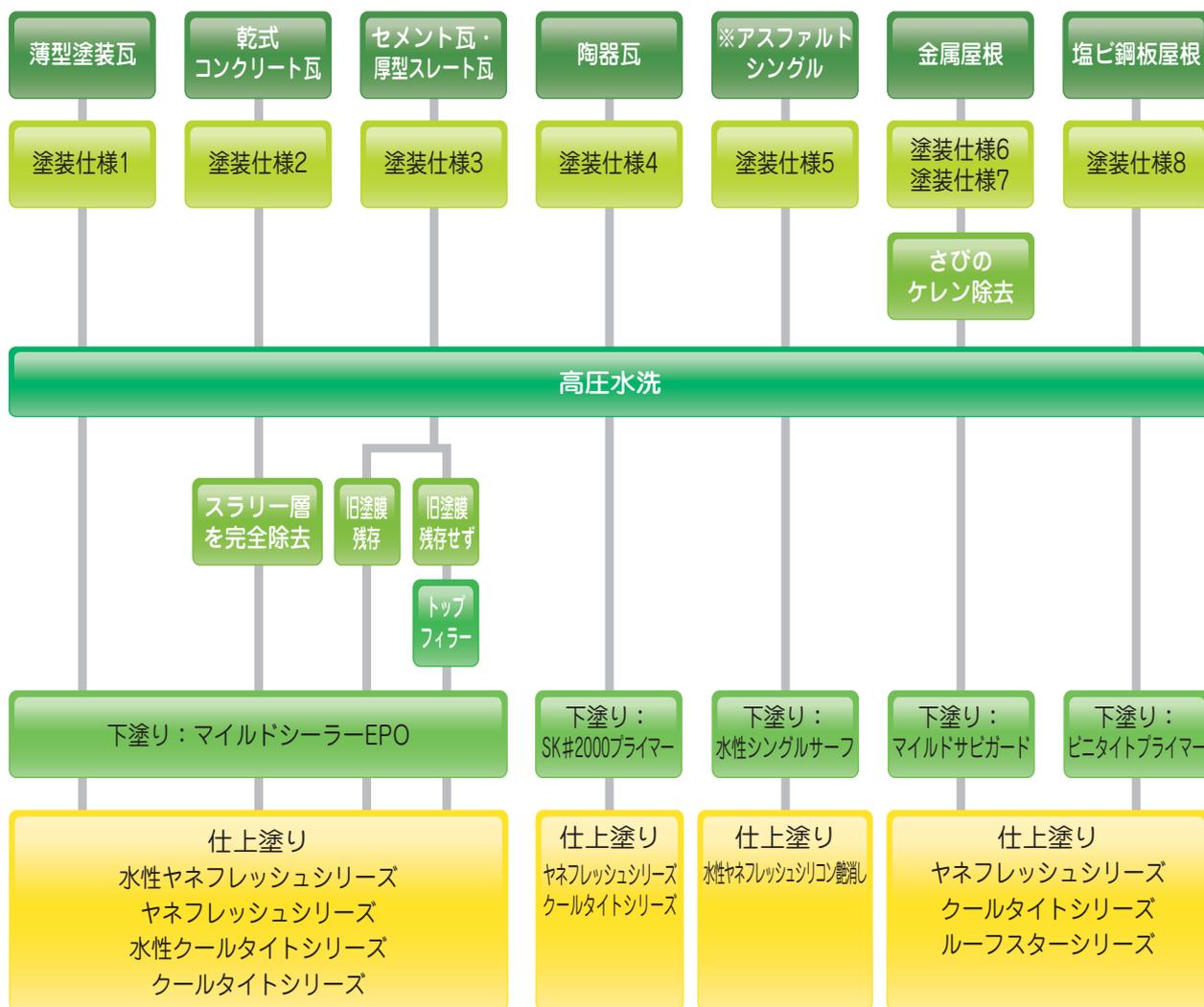
## 環境—耐久性比較



## 促進耐候性試験



# 屋根の塗り替え製品ラインアップ



※溶剤形塗料を仕上塗りに用いると、アスファルトシングルのタール分がブリージングを起こす恐れがありますので、水性の上塗り材（艶消し）を選択して下さい。

# 屋根の種類別、適用屋根用塗料一覧

屋根材の種類	水性ヤネフレッシュシリーズ	ヤネフレッシュシリーズ	水性クールタイトシリーズ	クールタイトシリーズ	ルーフスターシリーズ
薄型塗装瓦	◎	◎	◎	◎	—
乾式コンクリート瓦	○	◎	○	○	—
セメント瓦・厚型スレート瓦	○	◎	○	○	—
陶器瓦	*	◎	*	○	—
アスファルトシングル	◎ (水性ヤネフレッシュシリコン艶消し)	—	*	—	—
金属屋根	*	○	*	◎	◎
塩ビ鋼板屋根	*	◎	*	◎	◎

(◎：推奨 ○：適用可 —：適用不可)

\* 下地の種類・劣化状況等により、下塗材の選択が必要になりますので、詳しくは別途もよりの営業所へお問い合わせください。

# 屋根の塗り替え製品ラインナップ

## 水性クールタイトシリーズ

## 水性

水性の超耐久性屋根用遮熱塗料です。汎用屋根用塗料と比較して表面温度を下げる効果（色相により効果は異なります）があり、室内環境の向上、冷房費の節約に役立つと共にヒートアイランド対策とCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の排出抑制に大きな役割を果たします。また、水性で一液タイプのため、環境に優しく取り扱いが簡単です。このシリーズには次の二製品があります。

水性クールタイトシリコン（アクリルシリコン樹脂系）

水性クールタイトフッソ（ふっ素樹脂系）

- 特長**
- 優れた遮熱機能
  - 超耐久性
  - 防かび・防藻性
  - 低汚染性
  - 安全性
  - 良好な作業性

(20℃、65%RH)

材 料 名	調 合	所要量	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
				工程内	工程間	最終養生	
水性クールタイトシリコン	100	0.28~0.32	2	2以上	-	24以上	クーロナー、刷毛、エアレススプレーガン ハケ幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
※1 清 水	5~15	-					

※1 清水での希釈率はスプレー塗り時で「10~15」、刷毛、ローラー塗り時で「5~10」となります。

(20℃、65%RH)

材 料 名	調 合	所要量	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
				工程内	工程間	最終養生	
水性クールタイトフッソ	100	0.28~0.32	2	2以上	-	24以上	クーロナー、刷毛、エアレススプレーガン ハケ幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
※1 清 水	0~20	-					

※1 清水での希釈率はスプレー塗り時で「10~20」、刷毛、ローラー塗り時で「0~10」となります。

## クールタイトシリーズ

## 弱溶剤

弱溶剤形の高・超耐久性屋根用遮熱塗料です。このシリーズには次の三製品があります。

クールタイト（ポリウレタン樹脂系）

クールタイトSi（アクリルシリコン樹脂系）

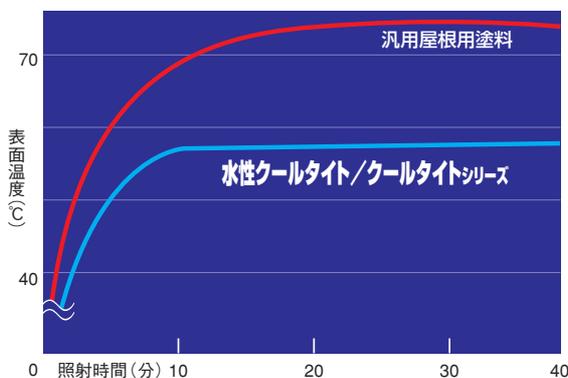
クールタイトF（ふっ素樹脂系）

- 特長**
- 優れた遮熱機能
  - 超耐久性（クールタイトSi/F）
  - 高耐久性（クールタイト）
  - 優れた低汚染性
  - 防かび・防藻性
  - 良好な作業性

(20℃、65%RH)

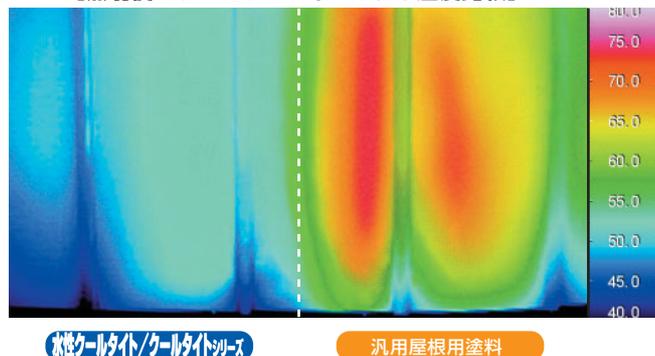
材 料 名	調 合	所要量	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
				工程内	工程間	最終養生	
※1 クールタイトシリーズ主剤	100	0.26~0.30	2	3以上 7日以内	-	24以上	クーロナー、刷毛、エアレススプレーガン ハケ幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
クールタイトシリーズ硬化剤	14.3						
※2 塗料用シンナーA	0~20	-					

※1 クールタイトシリーズは「クールタイト」「クールタイトSi」「クールタイトF」を示します。  
 ※2 塗料シンナーAでの希釈率は、主剤100に対してスプレー塗り時で「10~20」、刷毛、ローラー塗り時で「0~10」となります。



基 材：アルミニウム板（裏面：発泡ポリスチレン／50mm厚）  
 赤外線照射距離：50cm／ランプ：赤外線ランプ（IR110V250W）  
 測定時室温：20℃／色 相：スレートブラック

【照射後のサーモグラフィーによる温度比較】



詳しくは、別途資料をご参照下さい。

# 屋根の塗り替え製品ラインナップ

## 水性ヤネフレッシュシリーズ 水性

水性の高耐久性屋根用塗料です。下塗材、上塗材ともに架橋タイプの特殊エマルジョン樹脂を採用しているため、汎用タイプと比較して優れた耐久性を示し、メンテナンスサイクルを大きく延ばすことができます。

このシリーズには次の二製品があります。

水性ヤネフレッシュシリコン (アクリルシリコン樹脂系)

水性ヤネフレッシュフッソ (ふっ素樹脂系)

- 特長**
- 優れた隠蔽性
  - 優れた密着性
  - 超耐久性
  - 良好な作業性
  - 強靭性
  - 安全性
  - 防かび・防藻性

(20°C、65%RH)

材 料 名	調 合	所要量	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
				工程内	工程間	最終養生	
※1 水性ヤネフレッシュシリーズ	100	0.28~ 0.32	2	2以上	-	24以上	ケMO-テ、刷毛、 エアロスプレーガン ハケン幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
※2 清 水	5~15	-					

※1 水性ヤネフレッシュシリーズは「水性ヤネフレッシュシリコン」「水性ヤネフレッシュフッソ」を示します。  
 ※2 清水での希釈率はスプレー塗り時で「10~20」、刷毛、ローラー塗り時で「5~10」となります。

## ヤネフレッシュシリーズ 弱溶剤

弱溶剤形の高・超耐久性屋根用塗料です。弱溶剤で構成されているため旧塗膜のリフティングの心配がなく多くの下地に適用できます。

このシリーズには次の三製品があります。

ヤネフレッシュ (ポリウレタン樹脂系)

ヤネフレッシュSi (アクリルシリコン樹脂系)

ヤネフレッシュF (ふっ素樹脂塗料)

- 特長**
- 優れた隠蔽性
  - 優れた密着性
  - 防かび・防藻性
  - 幅広い適用性
  - 超耐久性(ヤネフレッシュSi/F)
  - 良好な作業性
  - 高耐久性(ヤネフレッシュ)

(20°C、65%RH)

材 料 名	調 合	所要量	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
				工程内	工程間	最終養生	
※1 ヤネフレッシュシリーズ主剤	100	0.28~ 0.32	2	3以上 7日以内	-	24以上	ケMO-テ、刷毛、 エアロスプレーガン ハケン幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
ヤネフレッシュシリーズ硬化剤	14.3						
※2 塗料用シンナー-A	0~20	-					

※1 ヤネフレッシュシリーズは「ヤネフレッシュ」「ヤネフレッシュSi」「ヤネフレッシュF」を示します。  
 ※2 塗料シンナー-Aでの希釈率は、主剤100に対してスプレー塗り時で「10~20」、刷毛、ローラー塗り時で「0~10」となります。

## ルーフスターシリーズ 弱溶剤

弱溶剤形のトタン屋根専用塗料です。強靭で可とう性のある塗膜は、風雨や降雪などにも優れた耐久性を示します。

このシリーズには次の三製品があります。

ルーフスターU (ポリウレタン樹脂系)

ルーフスターSi (アクリルシリコン樹脂系)

ルーフスターF (ふっ素樹脂系)

一液ルーフスターシリコン (アクリルシリコン樹脂系)

- 特長**
- 高い光沢
  - 良好な低温作業性
  - 強靭性
  - 耐温冷線返し性
  - 優れた密着性

(20°C、65%RH)

材 料 名	調 合	所要量	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
				工程内	工程間	最終養生	
※1 ルーフスターシリーズ主剤	100	0.22~ 0.28	2	3以上 7日以内	-	24以上	ケMO-テ、刷毛、 エアロスプレーガン ハケン幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
ルーフスターシリーズ硬化剤	14.3						
※2 塗料用シンナー-A	0~20	-					

※1 ルーフスターシリーズは「ルーフスターU」「ルーフスターSi」「ルーフスターF」を示します。  
 ※2 塗料シンナー-Aでの希釈率は、主剤100に対してスプレー塗り時で「10~20」、刷毛、ローラー塗り時で「0~10」となります。

(20°C、65%RH)

材 料 名	調 合	所要量	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
				工程内	工程間	最終養生	
一液ルーフスターシリコン	100	0.22~ 0.28	2	3以上 7日以内	-	24以上	ケMO-テ、刷毛、 エアロスプレーガン ハケン幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
※1 塗料用シンナー-A	5~20	-					

※1 塗料シンナー-Aでの希釈率はスプレー塗り時で「10~20」、刷毛、ローラー塗り時で「5~10」となります。

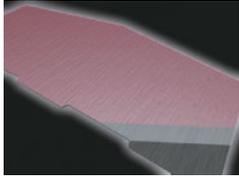


# 屋根の種類別施工仕様例

戸建てでは耐震性を考慮して薄型塗装瓦が増加しており、その他乾式コンクリート瓦（モニエル瓦）や従来の陶器瓦等も使用されています。一般的に屋根は条件が厳しいため、より耐候性に優れたヤネフレッシュ S i、ヤネフレッシュ F を推奨します。

## 【塗装仕様1】 下地：薄型塗装瓦

(20℃、65%RH)

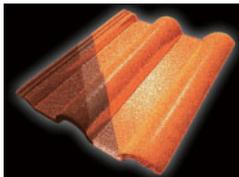


工程	材料名	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	素地調整							・高圧水洗（10～15MPa）で、ごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去して下さい。 ・高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながら、デッキブラシ・たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去して下さい。	
2	乾燥							・水洗後は十分に乾燥を行う。（冬期3日以上、夏期2日以上）	
3	※1,2 下塗り	マイルドシーラー-EPO主剤	100	0.15～ 0.25	1～2	3以上	3以上 7日以内	-	クーラー、刷毛、 エアレススプレーガン パターン幅：25～30cm 吐出量：600～1000ml/分
		マイルドシーラー-EPO硬化剤	33.3						
4	※3,4 上塗り	ヤネフレッシュ主剤	100	0.28～ 0.32	2	3以上 7日以内	-	24以上	クーラー、刷毛、 エアレススプレーガン パターン幅：25～30cm 吐出量：600～1000ml/分
		ヤネフレッシュ硬化剤	14.3						
		塗料用シンナーA	0～20	-					
5	縁切り							水切り部などで、上下の瓦が塗料で接着する箇所は縁切りを行って下さい。	

- ※1 マイルドシーラー-EPOは希釈せずに使用して下さい。ミラクシーラー-EPOもご使用いただけます。
- ※2 下地の劣化が激しくなく、上塗りに水性ヤネフレッシュシリーズを使用する場合は、下塗りに水性ヤネフレッシュシーラーを、また、上塗りに水性クールタイトシリーズを使用する場合は、水性クールタイトシーラーを使用して下さい。
- ※3 塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。
- ※4 この他、各種の適用上塗材を選定できます。詳しくは4頁「屋根の種類別、適用屋根用塗料一覧」を参照して下さい。

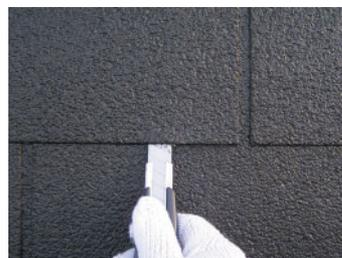
## 【塗装仕様2】 下地：乾式コンクリート瓦（例：モニエル瓦）

(20℃、65%RH)



工程	材料名	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	素地調整							・高圧水洗（10～15Mpa）で、ごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去して下さい。 ・高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながら、デッキブラシ・たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去して下さい。 ・高密度スラリー層が残存しないように除去を行って下さい。	
2	乾燥							・水洗後は十分に乾燥を行う。（冬期3日以上、夏期2日以上）	
3	※1 下塗り	マイルドシーラー-EPO主剤	100	0.15～ 0.25	1～2	3以上	3以上 7日以内	-	クーラー、刷毛、 エアレススプレーガン パターン幅：25～30cm 吐出量：600～1000ml/分
		マイルドシーラー-EPO硬化剤	33.3						
4	※2,3 上塗り	ヤネフレッシュ主剤	100	0.28～ 0.32	2	3以上 7日以内	-	24以上	クーラー、刷毛、 エアレススプレーガン パターン幅：25～30cm 吐出量：600～1000ml/分
		ヤネフレッシュ硬化剤	14.3						
		塗料用シンナーA	0～20	-					
5	縁切り							水切り部などで、上下の瓦が塗料で接着する箇所は縁切りを行って下さい。	

- ※1 マイルドシーラー-EPOは希釈せずに使用して下さい。ミラクシーラー-EPOもご使用いただけます。吸い込みが著しい下地では、所定の所要量に関係なく、基材表面が濡れ色になり、光沢が出るまで塗付して下さい。
- ※2 塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。
- ※3 この他、各種の適用上塗材を選定できます。詳しくは4頁「屋根の種類別、適用屋根用塗料一覧」を参照して下さい。



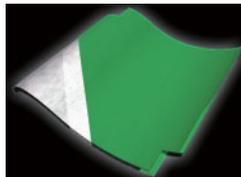
参考写真:縁切り



# 屋根の種類別施工仕様例

## 【塗装仕様3】 下地：セメント瓦（旧塗膜無）

(20℃、65%RH)

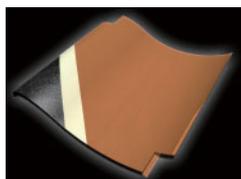


工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	素地調整							・高圧水洗（10～15Mpa）で、ごみや汚れ、こけなどを除去して下さい。 ・高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながら、デッキブラシ・たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけなどを除去して下さい。	
2	乾 燥							・水洗後は、十分に乾燥を行う。（冬期3日以上、夏期2日以上）	
3	SKトップフィラー粉体	100	1.5～2.5	1～2	6以上	24以上	-	リシンガン 口径：4～5mm 圧力：490～588kpa	
	SKトップフィラー混和液	50							
	清水	0～5	-						
4	※1 下 塗 り	マイルドシーラー-EPO主剤	100	0.15～ 0.25	1～2	3以上	3以上 7日以内	-	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタン幅：25～30cm 吐出量：600～1000ml/分
		マイルドシーラー-EPO硬化剤	33.3						
5	※2,3 上 塗 り	ヤネフレッシュ主剤	100	0.28～ 0.32	2	3以上 7日以内	-	24以上	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタン幅：25～30cm 吐出量：600～1000ml/分
		ヤネフレッシュ硬化剤	14.3						
		塗料用シンナーA	0～20	-					
6	縁 切 り							水切り部などで、上下の瓦が塗料で接着する箇所は縁切りを行って下さい。	

- ※1 マイルドシーラー-EPOは希釈せずに使用して下さい。ミラクシーラー-EPOもご使用いただけます。  
 ※2 塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。  
 ※3 この他、各種の適用上塗材を選定できます。詳しくは4頁「屋根の種類別、適用屋根用塗料一覧」を参照して下さい。

## 【塗装仕様4】 下地：陶器瓦（施釉）

(20℃、65%RH)



工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	素地調整							・高圧水洗（10～15Mpa）で、ごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去して下さい。 ・高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながら、デッキブラシ・たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去して下さい。	
2	乾 燥							・水洗後は、十分に乾燥を行う。（冬期3日以上、夏期2日以上）	
3	※1 下 塗 り	SK#2000プライマー主剤	100	0.14～ 0.17	1	-	4以上 7日以内	-	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタン幅：25～30cm 吐出量：600～1000ml/分
		SK#2000プライマー硬化剤	10						
		SK#2000プライマーシンナー	10～40						
4	※2,3 上 塗 り	ヤネフレッシュ主 剤	100	0.28～ 0.32	2	3以上 7日以内	-	24以上	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタン幅：25～30cm 吐出量：600～1000ml/分
		ヤネフレッシュ硬化剤	14.3						
		塗料用シンナーA	0～20	-					
5	縁 切 り							水切り部などで、上下の瓦が塗料で接着する箇所は縁切りを行って下さい。	

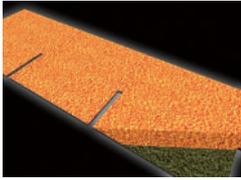
- ※1 SK#2000プライマーシンナーでの希釈率は、スプレー塗り時で「20～40」、刷毛・ローラー塗り時で「10～20」となります。  
 ※2 塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。  
 ※3 この他、各種の適用上塗材を選定できます。詳しくは4頁「屋根の種類別、適用屋根用塗料一覧」を参照して下さい。



# 屋根の種類別施工仕様例

## 【塗装仕様5】下地：アスファルトシングル

マンションや戸建て物件の屋根に多く見られるアスファルトシングル用として、新たに専用のサーフェーサーを開発しました。(20℃、65%RH)



工程	材料名	調合(重量比)	所要量(kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	素地調整							・ 高圧水洗(10~15Mpa)で、ごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去して下さい。 ・ 高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながら、デッキブラシ・たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こけ、浮き膜などを除去して下さい。	
2	乾燥							・ 水洗後は、十分に乾燥を行う。(冬期3日以上、夏期2日以上)	
3	※1 下塗り	水性シングルサーフ	100	0.5~0.9	1~2	-	4以上	-	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタケ幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
		清 水	3~15	-					
4	※2,3 上塗り	水性ヤネフレッシュシリコン艶消し	100	0.28~0.32	2	2以上	-	24以上	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタケ幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
		清 水	5~15	-					
5	縁切り	上下のシングル部材が塗料で接着する箇所は縁切りを行う。							

- ※1 清水での希釈率は、スプレー塗り時で「5~15」、刷毛・ローラー塗り時で「3~5」となります。
- ※2 清水での希釈率は、スプレー塗り時で「10~15」、刷毛・ローラー塗り時で「5~10」となります。
- ※3 この他、各種の適用上塗材を選定できます。詳しくは4頁「屋根の種類別、適用屋根用塗料一覧」を参照して下さい。

## 【塗装仕様6】下地：金属屋根

寒冷地を中心に使用されている金属屋根には、光沢性に優れた「ルーフスターシリーズ」が最適です。(20℃、65%RH)



工程	材料名	調合(重量比)	所要量(kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	素地調整							・ 高圧水洗で、ごみや汚れ・こけ・死膜などを完全に除去して下さい。 ・ 高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわしなどで表面に付着したごみや汚れ・こけ・死膜などを完全に除去して下さい。 ・ 部分的にさびが発生している場合、十分なケレンを行って下さい。	
2	※1,2 下塗り	マイルドサビガード	100	0.13~0.16	1	-	3以上 1ヶ月以内	-	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタケ幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
		塗料用シンナーA	5~15						
3	※3,4 上塗り	ルーフスター-Si 主 剤	100	0.22~0.28	2	3以上 7日以内	-	24以上	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタケ幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
		ルーフスター-Si 硬化剤	14.3						
		塗料用シンナーA	0~20						

- ※1 下地の劣化、腐食が進行している場合(赤さびが発生している場合)や過酷な環境下で、耐久性を必要とする場合は、★SKマイルドボーセイ〔16kgセット〕を使用して下さい。
- ※2 塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10~15」、刷毛・ローラー塗り時で「5~10」となります。
- ※3 塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10~20」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。
- ※4 この他、各種の適用上塗材を選定できます。詳しくは4頁「屋根の種類別、適用屋根用塗料一覧」を参照して下さい。

## 【塗装仕様7】下地：金属屋根

金属折板屋根の多い工場では、ヒートアイランド現象の防止や省エネ効果の高い遮熱塗料「クールタイトシリーズ」を推奨します。(水性クールタイトシリーズの金属屋根改修仕様については、別途お問い合わせ下さい)(20℃、65%RH)



工程	材料名	調合(重量比)	所要量(kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	※1 素地調整							・ 高圧水洗で、ごみや汚れ・こけ・死膜などを完全に除去して下さい。 ・ 高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわしなどで表面に付着したごみや汚れ・こけ・死膜などを完全に除去して下さい。 ・ 部分的にさびが発生している場合、十分なケレンを行って下さい。	
2	※2,3 下塗り	クールタイトプライマー主剤	100	0.15~0.20	1	-	6以上 14日以内	-	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタケ幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
		クールタイトプライマー硬化剤	25						
		塗料用シンナーA	0~10						
3	上塗り	クールタイトSi 主 剤	100	0.26~0.30	2	3以上 7日以内	-	24以上	ウーローラ、刷毛、 エアレススプレーガン ハタケ幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
		クールタイトSi 硬化剤	14.3						
		塗料用シンナーA	0~20						

- ※1 塗膜表面の不純物除去が不十分な場合、光沢のある仕上がり得られなかったり、経年後、塗膜の膨れ、はがれなどの原因になることがあります。また、金属露出部がある場合は発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取って下さい。
- ※2 下地劣化、腐食が進行している場合(赤さびが発生している場合)や、過酷な環境条件下及び耐久性を必要とする場合、アルミ、スチール下地などには、★ミラクボーセイM(18kgセット)をご使用下さい。
- ※3 塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「5~10」、刷毛・ローラー塗り時で「0~5」となります。
- ※4 塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10~20」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。
- ※5 この他、各種適用上塗材を選定できます。詳しくは4頁「屋根の種類別、適用屋根用塗料一覧」を参照して下さい。



# 屋根の種類別施工仕様例

## 【塗装仕様8】 下地：塩ビ鋼板屋根

(20℃、65%RH)



工程	材料名	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
1	素地調整	・塩ビの浮き、剥離箇所は、ミラクボーセイMで補修塗りを行って下さい。 ・付着物、汚れはあらかじめ掃除、除去のうえ、十分に乾燥させて下さい。また、油分は溶剤で拭き取って下さい。							
2	※1 下塗り	ビニタイトプライマー主剤	100	0.12~ 0.16	1	-	4以上 7日以内	-	ウーローラー、刷毛、 エアレススプレーガン ハタン幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
		ビニタイトプライマー硬化剤	10						
		ウレタンシンナー	0~10	-					
3	※2 上塗り	ヤネフレッシュ主剤	100	0.28~ 0.32	2	3以上 7日以内	-	24以上	ウーローラー、刷毛、 エアレススプレーガン ハタン幅：25~30cm 吐出量：600~1000ml/分
		ヤネフレッシュ硬化剤	14.3						
		塗料用シンナーA	0~20	-					

※1 ウレタンシンナーでの希釈率は、スプレー塗り時で「5~10」、刷毛・ローラー塗り時で無希釈となります。

※2 この他、各社の適用上塗材を選定できます。詳しくは4頁「屋根の種類別、適用屋根用塗料一覧」を参照して下さい。



## 荷 姿

分類	製品名	艶の種類	荷姿	標準塗坪 ※1
上塗材	★ヤネフレッシュ	艶有り、3分艶、艶消し	16kgセット (主剤14kg/硬化剤2kg)、4kgセット	50~57㎡/セット (12~14㎡/セット)
	★ヤネフレッシュSi			
	★ヤネフレッシュF			
	水性ヤネフレッシュシリコン	艶有り、艶消し (4kg缶は艶有りのみ)	15kg石油缶、4kg缶	46~53㎡/缶
	水性ヤネフレッシュフッソ	艶有り		
	★クールタイト	艶有り、3分艶	16kgセット (主剤14kg/硬化剤2kg)、4kgセット	53~61㎡/セット (13~15㎡/セット)
	★クールタイトSi			
	★クールタイトF			
	水性クールタイトシリコン	艶有り	15kg石油缶	46~53㎡/缶
	水性クールタイトフッソ			
	★ルーフスターU	艶有り、艶消し	16kgセット (主剤14kg、硬化剤1kg×2)	57~72㎡/セット
	★ルーフスターSi			
	★ルーフスターF			
一液ルーフスターシリコン	艶有り	15kg石油缶	53~68㎡/缶	
下塗材・ 下地調整材	S K トップフィルター	-	30kgセット (粉体20kg、混和液10kg)	12~20㎡/セット
	★マイルドシーラーEPO	-	14kgセット (主剤10.5kg、硬化剤3.5kg)	56~93㎡/セット
	★S K # 2000 プライマー	-	16.5kgセット (主剤15kg、硬化剤1.5kg)	97~117㎡/セット
	水性シングルサーフ	-	15kg石油缶	21~50㎡/缶
	★マイルドサビガード	-	16kg石油缶	100~123㎡/缶
	★S K マイルドボーセイ	-	16kgセット (主剤12.8kg、硬化剤3.2kg)	56~93㎡/セット
	★ビニタイトプライマー	-	16.5kgセット (主剤15kg、硬化剤1.5kg)、5.5kgセット	104~137㎡/セット (35~45㎡/セット)
希釈剤	★塗料用シンナーA	-	16ℓ石油缶	

※1 ( ) は小缶の数値を示します。なお、標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承下さい。



## 危険情報と安全対策

ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読み下さい。また、MSDS (製品安全データシート) もご参照下さい。特に、★印のついている製品は、溶剤形の製品であるため下記の点にご注意下さい。

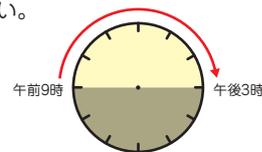
1. 引火性の液体であるため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクを使用するなどの安全対策を行って下さい。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分に注意して下さい。

このカタログに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。



# 施工上の注意事項

- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けて下さい。
- 気象条件により被塗面に結露が発生した場合には、塗膜の密着不良を生じますので、施工を避けて下さい。(原則として午前9時～午後3時が推薦施工時間です。)
- ゴミやほこり、砂、樹液などの汚染要因は、あらかじめ塗装前に水洗い等で十分に除去した後、さらに十分に乾燥させ、清浄な面にして下さい。
- 改装工事において、溶剤形の下塗材を使用される際に、溶剤などの影響で、膨れやちぢみなどの塗膜異常が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ディスクサンダーやワイヤーブラシ、サンドペーパーなどを用いて、さびを入念に除去して下さい。
- 瓦の重なり部分はワイヤーブラシを用いて十分に除去して下さい。これらが不十分であれば、均一な仕上がりを得られなかったり、経年後の塗膜異常の原因となる場合があります。
- 旧塗膜に浮きや剥離箇所があれば、その周辺を含め、入念にケレン除去して下さい。
- 水洗時は滑りやすくなるため、十分に注意して下さい。
- 瓦の上下に隙間がなければ、通気が不十分となり、結露水などの水分の影響により、素材の腐食・漏水が発生する原因となる可能性があります。
- 水洗後は、十分に乾燥させて下さい。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の膨れや剥れなどの原因となる場合があります。
- トタン下地が見えている所や、さびの生じている箇所は、ケレン後必ずさび止め塗料を塗装して下さい。
- なみがたトタンの山部分や、トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りすることをお奨め致します。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌して下さい。
- 材料を希釈しすぎると、隠べい力不足やたれ、透けなどの仕上り不良、色別れ等の原因となりますので、注意して下さい。
- 十分な塗膜性能を確保するため、所定の塗回数、所要量、膜厚を確保して下さい。
- 所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- 各標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守り、施工して下さい。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 乾燥過程で水(降雨)などの影響を受けると白化することがあります。
- 他の材料と混合すると、性能低下につながりますので、絶対に避けて下さい。
- 積雪の影響を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部はこすりつけるように増し塗りを行って下さい。
- マイルドサビガード、一液ルーフスターシリコンでは、スプレーダストや製品の付着した布、紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるため、廃棄するまで水に漬けるなどして安全に保管して下さい。
- 施工時は、飛散防止のため、十分に養生を行って下さい。
- JIS K5629(鉛酸カルシウム錆止め)は、下塗りに使用しないで下さい。
- 有機溶剤を使用している材料は、施工・保管に十分配慮して下さい。
- 弱溶剤形製品の場合、使用した塗装機器はラッカーシンナーなどで洗浄して下さい。
- 上塗りの希釈率は色目および施工時の気温により変化することがあります。ご了承下さい。
- 塗料用シンナーAを希釈に使用する製品では、他の材料の使用は避けて下さい。
- 二液タイプの製品は、所定の割合で混合し、ポットライフの時間内(5時間以内)に使い切るようにして下さい。
- 金属露出部がある場合は、発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取って下さい。



## エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂3-5-25 ☎072-621-7733  
 東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 東京支店 ☎03-3204-6601 埼玉支店 ☎048-686-2391 名古屋支店 ☎052-561-7712 広島支店 ☎082-278-4951  
 仙台支店 ☎022-259-2431 千葉支店 ☎043-304-0411 横浜支店 ☎045-313-3551 大阪支店 ☎072-621-7721 福岡支店 ☎092-629-3427  
 旭川営業所 ☎0166-51-8094 千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413 静岡営業所 ☎054-284-1877 大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561  
 青森出張所 ☎017-721-3850 埼玉営業所 ☎048-686-2391 浜松出張所 ☎053-462-7021 南大阪営業所 ☎072-253-1910 大分出張所 ☎097-523-2861  
 盛岡営業所 ☎019-654-9380 埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-2391 三河営業所 ☎0564-28-1614 神戸営業所 ☎078-671-0451 長崎営業所 ☎095-897-0871  
 郡山営業所 ☎024-982-7673 東京営業所 ☎03-3204-6601 北陸営業所 ☎076-266-1041 姫路出張所 ☎0792-33-7371 熊本営業所 ☎096-367-7271  
 新潟営業所 ☎025-285-6551 東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602 名古屋営業所 ☎052-561-7712 岡山営業所 ☎086-242-5520 鹿児島営業所 ☎099-284-5321  
 前橋営業所 ☎027-265-4100 東京開発本部 ☎03-3204-6603 岐阜住宅開発営業所 ☎052-561-7712 広島住宅開発営業所 ☎082-278-4951 宮崎出張所 ☎0985-61-7779  
 長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3877-7770 岐阜営業所 ☎058-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 沖縄営業所 ☎098-862-5041  
 松本出張所 ☎0263-40-3644 三多摩営業所 ☎042-564-5806 三重営業所 ☎059-236-5101 高松営業所 ☎087-865-5411  
 水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜住宅開発営業所 ☎045-313-3545 京都営業所 ☎075-646-3967 松山出張所 ☎089-968-7240  
 宇都宮営業所 ☎028-633-9721 厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載、複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先として下さい。詳しくはもよりの各営業所へお問い合わせ下さい。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>

特約販売店